

特別企画:自然観察会

地域での SSN 活動を半日で 5つ楽しむ！

長谷川依子（松戸市）

日 時：2014 年 2 月 11 日（火・祝）9 時 30 分～11 時 30 分 天気：雪

場 所：千葉公園 好日亭 茶室

参加者：29 名、担当：八木千里

各地の SSN 指導員(四街道市・松戸市・船橋市・千葉市・白井市)

総会のオプション特別企画として「自然観察会～地域での SSN 活動の紹介・体験」を千葉公園で行う計画でした。この日は数日前の記録的な積雪に続き、千葉市では更に 20cm を超す大雪となる足場の悪い日でした。このため、好日亭の茶室を借り、四街道・松戸・船橋・千葉・白井の SSN のメンバーが、15 分ずつ日頃の活動を実践・紹介し、参加者は保育園児や小学生になりきって楽しい時間を過ごしました。

カササギやリスを頭に頂き、タケの節と枝を上手く利用した柄杓でのドングリ運び競争や、ロープの輪に松ぼっくりを転がして入れるゲームは、思いのほか楽しくも難しく、参加者は笑いながらも必死。「木の実や葉っぱの王冠」は、用意された自然の恵みから自分の好きな色や素材を選んで作ります。準備された被り物には両面テープが貼ってあり、好きなものを貼っていくと自分だけの素敵な王冠になるというもの。ドングリ体操やクズの輪投げ、葉っぱの紙芝居なども、四街道の保育所での「しぜんあそび」として紹介されました。

続いて松戸からは小学 4 年向けの、似ているようでどこか違う「スズメクイズ」（どこが違う？どう違う？）や、実際の大きさ・重さに作られたスズメ(ぬいぐるみ)を手にして、知っているようでは見落としがちなスズメを観察していくものでした。実物のスズメやカラスの頭骨や巣は、小学生の様にそっと手にしていましたね。“アゲハチョウ 2 頭～卵～幼虫～アゲハチョウ 2 頭”の紙芝居は「いのちのつながり」を考えるものでした。

船橋の「冬の樹木の観察」は小学 1 年向け。「木の体操」は皆で実践。冷えたこの日に、ちょっとした体操は楽しい！ 冬の工作としてヤツデの帽子やカラス毎に作られたリース、老人会の方の協力による風車や牛乳パックの竹トンボなどが、実物や写真で紹介されました。6 クラス 160 名の 1 年生を相手に、楽しいと感じてもらいながら自然への興味へ誘うのは、さぞや大変なことだろうと思われました。

昭和の森で 4 年生向けに行われる千葉の活動は、まだ訪れたことのない私には、その広さと標高差をイメージするしかありませんでした。指導員でさえ、はぐれてはパニックになりそうになるというフィールドでの観察会は、時間管理の難しさはあるでしょうが、自生のホタルを始め、豊かな自然の中で体験できる子どもたちの多くの驚きや発見が想像されます。参加したいと思いました。

最後に白井からは4年生向けの冬の自然観察。大震災以後、現在も放射線を測定することで学校と保護者の理解を得ていることが報告されました。（他の地域でもこの対策には種々苦労！）ムクロジの石けん作りで振られたペットボトルは、どれも泡だらけでしたね。その他にも冬芽をファーブル顕微鏡（学校に 12 台有り）で観察することが報告されました。

子どもたちが自然への興味をもつていける様に、いろいろ工夫しながら取り組んでいることが分かりました。参考になることも多々ありました。あとは一緒に SSN で活動していく方が一人でも多くなることだけかな～皆さん、楽しいですよ、ご一緒しましょう！



四街道G:どんぐり運びゲーム